

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
化学プロセスへの膜分離利用 技術研究会 (中国地域国立5大学連携 事業)	中国経済連合会 中国経済産業局	34機関 産：中国経済連合会、企業24社、 (公財)ちゅうごく産業創造センター 学：広島大学、山口大学、岐阜大学、 化学工学会、(独)産業技術総合研究 所、(公財)地球環境産業技術研究機 構 官：中国経済産業局、(独)科学技術 振興機構JSTイノベーションプラザ 広島	平成24年度に実施した「化学技術に関す る大学の研究成果の説明会」において、 企業の関心の高かった「膜分離法」に関 する研究をテーマに取り組み、平成25年 度は研究会を1回開催した。 ・第1回研究会(H26.2.18)	・大学側からの最新の研究成果の紹介・ 意見交換による企業側の専門知識向上	継続実施 (26年度に 計3回の研 究会を開催 し共同研究 テーマを選 定)
バイオマス意見交換会 (中国地域国立5大学連 携事業)	中国経済連合会 中国経済産業局	23機関 産：中国経済連合会、企業11社、 (社)中国地域ニュービジネス協議 会、(公財)ちゅうごく産業創造セン ター 学：鳥取大学、島根大学、岡山大学、 広島大学、山口大学、鳥取環境大 学、(独)産業技術総合研究所 官：(独)科学技術振興機構JSTイノ ベーションプラザ広島、中国経済産業 局	・木質バイオマス分野で6件の広域 共同テーマに取り組んだ。	公的機関の助成事業へ2件採択 (そのうち1件は商品化)	広島大学 のバイオマ ス利用研 究会へ事 務局業務を 移管のうえ 継続実施
第12回キャンパスベン チャーグランプリ中国	中国経済連合会	産：中国経済連合会、日刊工業新聞社 学：中国地域の各大学(大学院)、高等 専門学校、短期大学、専門学校	応募期間：平成25年9～10月 応募総数：16校・91件 表彰：最優秀賞2件 (テクノロジー部門、ビジネス部門) その他優秀賞など14件	・起業家精神の醸成 ※最優秀賞の1件(テクノロジー部門) は、全国大会で特別賞を受賞	継続実施
ビジネスアイデア創出・プ ラン作成セミナー	中国経済連合会	産：中国経済連合会、日刊工業新聞社 学：広島・岡山の10大学の学生38 名、同大学の教員5名	日時：平成25年9月9日(月)、10日(火) 場所：広島市 主な内容： ・講演(学生向け)：1件 ・ビジネスアイデア創出・作成について、 大学からレクチャー ・グループワーキングによるビジネス プラン作成 ・コンテストおよび審査・表彰式	・ビジネスプラン作成に対する基本的な知 識・ノウハウの取得・向上 ・キャンパスベンチャーグランプリ中国へ の応募に向けたプランのブラッシュアップ	継続実施
インテレクチャルカフェ	コラボレーションセンター (中国経済産業局・中国経 済連合会)	9機関 産：中国経済連合会 学：広島大学、県立広島大学、広島市 立大学、近畿大学、広島工業大学、広 島国際大学、産業技術総合研究所 官：中国経済産業局	複数大学の共催で、各回ごとにテーマを 設定して3回実施 ＜第18回＞ 日時：平成25年11月11日(月) 主催：中国地域産学官コラボレーショ ン会議 テーマ：在宅医療支援とリハビリテーショ ン 分野における開発 ＜第19回＞ 日時：平成25年12月12日(木) 主催：中国地域産学官コラボレーショ ン会議 テーマ：ロボット技術と制御技術 ＜第20回＞ 日時：平成26年1月27日(月) 主催：中国地域産学官コラボレーショ ン会議、産総研中国センター テーマ：『ロボティクス技術を活用した 新たなものづくりへの展開	・人的ネットワークの構築 ・大学技術シーズの情報発信	継続実施
新商品・新サービスを発想 するワークショップ	岡山商工会議所・岡山商科 大学	産：岡山商工会議所 学：岡山商科大学	異業種によるワークショップを開催し、大 学研究者にファシリテーターとして議論を リードしていただいた。	異業種交流に大学を加えた多様な交流 の機会を提供することができた。	事業継続
OPUフォーラム2013	岡山県立大学	26機関 産…両備ホールディングス(株)、コア テック(株)、倉敷スクールタイガー縫製 (株)、(株)英田エンジニアリング 他 官…総社市、美作国建国1300年記念事 業実行委員会事務局、笠岡市市民活動 支援センター、岡山県新エネルギー推 進室 他	本事業は「未来へのアクセスマーク・技・体 で夢をかなえる」のテーマの下、本学教 員の研究成果を地域の方々及び企業・団 体に向けて公開する研究紹介展である。	3学部の研究結果を中心として、それぞ れが専門性を持ち寄り、協働して取り組 んだ融合型研究の展示も行い、教員展示と 企業・団体展示、合わせて約140件の展 示や、特別講演を行った。参加者数は約 700名で、約半数が学外者であった。	継続実施
シーズ集作成	岡山県立大学	なし	本年度初めての取り組みとして、本学の 技術等のシーズの取り纏めを行い、「知 の技術シーズ集」として冊子に取り纏め た。	本学の地域貢献を効果的に推進するた めの広報戦略として有効である。	継続実施
岡山大学 知恵の見本市2 013	岡山大学	産学官金42機関	○11/1 岡山大学創立五十周年記念館 で開催。 講演2、展示61ブース、	○岡山大学の研究成果に対する理解増 進	(継続実施)

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
医療展示会「岡山メディカル・イノベーション」	岡山大学	7機関： (NPO)メディカルテクノおかやま、岡山県、岡山市、(公財)岡山県産業振興財団、ハートフルビジネスおかやま、岡山県医用工学研究会、おかやま生体信号研究会	○3月18日～20日 岡山大学鹿田キャンパス(Jホール) 展示37ブース、プレゼンテーション10テーマ	○2014年度においてフォローアップを実施予定。 産業界から高い評価。	(継続実施)
国立6大学連携コンソーシアム新技術説明会	国立六大学連携コンソーシアム(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)	7機関： 千葉大学、新潟大学、金沢大学、熊本大学、長崎大学 JST、全国イノベーション推進機関ネットワーク	○新たな取組として、国立六大学合同による新技術説明会を実施。 9月17日(金) JST東京別館ホール(東京都・市ヶ谷) 各大学のライフサイエンス分野の研究成果10件をプレゼンテーション。 来場者 429名	○共同研究等のマッチングに向けてフォローアップ中。	(継続実施)
社会人教育(MOTセミナー、振動技術教育)	岡山大学		○MOTセミナー セミナー10回、MOT見学会4回を開催した。 これに加え、学生のためのMOT講座を4回開催した。 ○振動技術教育 6回開催した。 これに加え、振動音響技術懇談会を4回開催した。	○MOTセミナーについては、産業界の受講者17名に修了証を授与した。 ○振動技術教育については、産業界の受講者10名に修了証を授与した。 産業界から高い評価。	(継続実施)
岡山理科大学受託研究	・岡山理科大学 ・トマト銀行	産：(株)ピナン、(株)モリヤテクノ 学：岡山理科大学 金：トマト銀行	金融機関のネットワークにより潜在的ニーズを顕在化させ、受託研究に繋がった。	・輸入乾燥シロキクラゲしか流通していなかった高級食材のシロキクラゲを生で供給できる量産技術を確立した。 ・体育館など大空間の天井落下問題を解消する格子状母屋工法の強度検証を行った。	技術の改良のため、継続実施
近畿大学工学部産学官連携推進協会	近畿大学工学部	134機関 産：(会員)企業108社(協力機関)中国経済連合会、東広島商工会議所、広島商工会議所、呉商工会議所、福山商工会議所 学：(協力機関)広島大学産学連携センター 官：(協力機関)中国経済産業局、広島県、広島県立総合技術研究所西部工業技術センター、同東部工業技術センター、広島市工業技術センター、広島市、東広島市、呉市、福山市、(独)産業技術総合研究所中国センター、(財)くれ産業振興センター、(公財)ひろしま産業振興機構、同福山支所、同広島県産業科学技術研究所、(公財)ちゅうごく産業創造センター、(公財)広島市産業振興センター、(公財)マツダ財団、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(一社)発明協会広島県支部、(株)テクノプラザ	○近畿大学工学部産学官連携推進協会総会等 平成25年6月19日(水)、ホテルセンチュリー21広島にて開催 総会・技術発表会・技術交流会を実施 ○近畿大学工学部研究公開フォーラム2012 平成25年10月28日(月)、メルパルク広島にて開催 特別講演会、パネル展示、本学研究報告・企業技術発表、技術相談、交流会を実施 ○リカレント講座 平成25年11月2日(土)、9日(土)、16日(土)、近畿大学次世代基盤技術研究所にて開催 社会人を対象に講義を実施 ○3Dプリンタ講演会開催 平成26年1月29日(水)、備後地域地域産業振興センターにて開催 地域企業を対象に、講演と施策情報の提供、名刺交換会を実施	研究公開フォーラム2013の参加者は222名(来場者:134名、大学関係者:88名)となり、産学官連携に向けたネットワークの形成につながっている。 3Dプリンタ講演会の参加者は188名となり、金属粉末造形技術を中心に3Dプリンタの現状と今後の展望について周知が図られた。	継続実施
自動車分野医工連携研究会	広島大学 産学・地域連携センター	7機関 産：… 学：…広島大学、呉高専 官：…ひろしま産業振興機構	「磁界共鳴式非接触充電システムの研究開発」	2件の論文を公表した。	継続実施
中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	岡山大学 鳥取大学 (広島国際大学)	別紙①を参照ください。	平成25年度下半期から新規加入したため、総会への参加のみとなった。	平成25年度に新規加入したことにより、さんさんコンソのデータベース「CPAS Net(産学官連携マッチングシステム)」への登録や、さんさんコンソのイベント(シーズ発表会や人材育成セミナー等)への参加が可能となり、中国地域の内外に向けた積極的な産学連携活動および広域での技術マッチングを推進する体制の構築強化が図られることとなった。	継続実施
しんきん合同ビジネスフェア	広島信用金庫 呉信用金庫 しまなみ信用金庫 広島みどり信用金庫 (広島国際大学)	別紙②を参照ください。	2013年11月20日実施の「しんきん合同ビジネスフェア」にブース出展を行い、企業○○社からの来談があった。	異業種分野(医療分野)への参入を希望する出展企業が多いなど企業からのニーズ情報を知り得たが、そこから本学のシーズとマッチングし、共同研究へステップアップするまでには至らなかった。	継続実施
インテリクチャル・カフェ広島	中国経済産業局 (広島国際大学)	別紙③を参照ください。	2013年度の最初のインテリクチャルカフェにおいて、幹事校として参画した。また、本学総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科の谷口准教授による講演を実施した。	本学の総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科の研究シーズの発信を通じて、H25年度新設した学科の特長も発信できた。また、参加企業等との情報交換を行い、今後の共同研究に繋がる意見交換やネットワーク構築が図れた。	継続実施
医工連携人材育成プログラム	広島大学 (広島国際大学)	別紙④を参照ください。	連携4大学が合同でFD・SD研修会を年3回開催し、教育内容の充実、指導力の向上を図るとともに、先進的なプログラムを実施する他大学等から情報収集を行い、得られた情報は連携大学間で情報共有を図った。	本事業は2年目となり、連携授業やFD・SD研修会も多く実施され、医工連携人材育成が着実に進みつつあると感じている。	継続実施

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
広島発高齢者見守り支援システム開発プロジェクト	広島発高齢者見守り支援システム開発プロジェクト推進協議会 事務局:広島市立大学 広島市	10機関 産:・・・NSウエスト株式会社 株式会社エフ・ウェイ 株式会社コア 中四国カンパニー 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ中 国 シャープ株式会社 株式会社中国放送 学:・・・公立大学法人広島市立大学 官:・・・広島市 公益財団法人広島市産業振興セン ター 医:・・・広島市立広島市民病院	・プロジェクト運営組織の設立 名称:広島発高齢者見守り支援システム 開発プロジェクト推進協議会 ・みみスイッチ内蔵ワイヤレスイヤホンの 開発 ・スマートフォン用アプリケーション(プロ タイプ)の開発	赤外線センサーや体温・脈拍センサー、 無線通信基盤等を内蔵し、外耳道(そしゃ く)、脈拍、体温をセンシングするワイヤ レスイヤホン(1次試作品)を製作し、そこ からセンシングした情報を発信し、スマ ートフォンで受信し、画面にセンシング 内容を表示できる機能を開発した。	継続実施
広島市立大学2013年度リエ ゾンフェスタ	公立大学法人広島市立大 学、広島市	約60機関 産:三菱重工業株式会社等 学:広島国際大学等 官:広島市等	日 時:平成25年9月18日(水)13:00- 16:50 場 所:広島市まちづくり市民交流プラザ (広島市中区袋町) 第一部:開会の挨拶、基調講演、研究事 業紹介(学内講演) 第二部:マッチングセッション・交流会 本学研究内容を地域産業界や産学連 携推進機関等へ公開することにより、 本学に対する地域の理解を深め、新た な共同研究や受託研究等を創出し、 産学連携活動の推進を図ることを目 的としています。	新たな共同研究や受託研究の開始に繋 がる情報交換を行うことができた。	継続実施
文部科学省大学改革推進等 補助金(大学改革推進事 業) 平成25年度「地(知)の 拠点整備事業」	広島商船高等専門学校	16機関 産:・・・公益財団法人日本離島セン ター、大崎上島町教育委員会、大崎 上島町商工会、大崎上島町地域協 議会、木江地区造船海運振興協 議会、大崎上島町社会福祉協 議会、大崎上島町医師会、大崎 上島町観光協会、広島ゆたか農 業協同組合、大崎上島町有害鳥 獣駆除対策協議会、NPO法人か みじまの風、広島商船高等専 門学校産学振興交流会、中国電 力株式会社、 学:・・・ 官:・・・大崎上島町、広島県、 海上保安庁 呉海上保安部、	①地域に貢献できる人材の育成 ②離島課題と本校の研究をマッ チングによる、生活向上と産 業振興 ③地域産業界の人材育成支援 ④成果を情報発信・共有し、 全国離島の課題解決に貢献 以上を目的に、 ・本校教員と大崎上島町役場 職員と共同で地域課題研究 ・障がい者や高齢者への、 学生主体によるレクリエー ション等を通じた支援事業 ・学生への地域志向授業 等の事業を行った。	H25年度は初年度の取り組みとして、 教育改革(地域志向科目の実 施)、研究推進(ワークショップ による地域研究の洗い出し、 テーマの絞り込み)、及び社会 貢献事業を行い、地域に貢献 できる高等教育機関となる 礎を築いた。地域貢献事業 の特徴ある事業では、障がい 者・お年寄りとの交流を行い、 学生の参加人数もほぼ満足 な数であったと評価する。	継続実施
低カリウムメロンの生産に関 する共同研究	西日本旅客鉄道(株)	1機関 島根大学	・西日本旅客鉄道(株)とは平成 24年に地域振興に関わる包括 協定を締結。以降、地域に 貢献する事業に関する取り 組みについて検討を重ねた 結果、平成25年7月より島 根大学との共同研究が実 現。 ・島根大学本庄総合農場にて 定植作業を実施した。	・ニーズに適した連携先を紹 介。定植作業まで実施され、 一定の成果となった。 ・平成26年夏に収穫予定。 品質確認のうえ、収支計画 及び販路支援を行う。	継続実施
竹表皮を原材料とした機能 性入浴剤の商品化	(株)テオリ	1機関 島根大学	・平成22年8月の島根大学 への案件相談を皮切りに 共同開発を開始。浴用化粧 品「つる肌潤い風呂」を製 品化。 ・現在、販路支援中。	・販路支援の実施。	継続実施
産学連携センターでの情報 交換	-	2機関 島根大学 島根県	・島根大学産学連携セン ターにおいて、島根大学 及び島根県と情報交換を 実施。	・具体的な成果なし。	継続実施
民間企業との共同研究支援	民間企業	1機関 鳥取大学	・民間企業の商品開発 ニーズに対し、鳥取大学 を紹介。平成26年度の 共同研究に向けて支援 実施中。	・共同研究へ向けてほぼ 合意。	継続実施
連絡会議への参加	-	1機関 鳥取大学	・鳥取大学主催の連絡 会議に参加し、情報交 換を実施。	・具体的な成果なし。	継続実施
共生研究(COC事業)	山口県立大学	産:山口商工会議所 官:山口県、山口市、防 府市、岩国市	地域課題の解決とイノ ベーション創生に資する 研究を実施した。実施 した研究の課題は「健 康福祉社会づくり研 究」「ライフパ ーション研究」「や まぐち学研究」の3 課題。	研究成果を冊子又はD VDとして出版すると 同時に、その成果又 は経過をフォーラム で報告した。	継続実施

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
やまぐち事業化支援・連携 コーディネート会議	(公財)やまぐち産業振興 財団・山口大学	26機関 産：(有)山口ティー・エル・オー、周南 新商品創造プラザ、(一社)山口県技 術交流協会、(公財)周南地場産業振 興センター、(公財)山口・防府地域 工芸地場産業振興センター、NPO法 人山口県アクティブシニア協会、瑞穂 総合コンサルタント、(株)日本政策 金融公庫、(株)西京銀行、(一財) 山口経済研究所 学：山口大学、(独)水産大学校、山 口県立大学、山口東京理科大学、香川 学園、徳山大学、宇部高専、徳山高 専、大島商船高専 官：(公財)ちゅうごく産業創造セン ター、(一社)中国地域ニュービジネ ス協議会、宇部市、(地独)山口県産 業技術センター、(一社)山口県発明 協会、山口県、(公財)やまぐち産業 振興財団	1 平成25年度定時総会 (1)開催:平成25年6月11日(火) (2)場所:セントコア山口(山口市) (3)内容: ①平成24年度事業報告について ②平成25年度事業計画(案)について ③役員の変更について ④その他 (4)講演会等 ①基調講演 ②事例発表:企業からみた産学公連携につ いて 2 幹事会及び第14回企画運営委員会 合 同会議 (1)開催:平成26年3月14日(金) (2)場所:山口大学大学研究推進機構(宇部 市) (3)内容: ①平成25年度事業報告について ②平成26年度事業計画案について ③役員の変更について ④その他 3 コーディネータ連絡会議 「平成25年度 第1回コーディネータ連絡会 議」 (1)開催:平成25年5月15日(木) (2)場所:東ソークラブ(周南市) (3)内容: ①会社、新商品新技術紹介 ②情報連絡(コーディネータ活動報告) 特別講演 「平成25年度 第2回コーディネータ連絡会 議」 (1)開催:平成25年11月26日(火) (2)場所:東ソークラブ(周南市) (3)内容: ①(地独)山口県産業技術センターの技術支 援活動等の紹介 ②特別講演 「平成25年度 第3回コーディネータ連絡会 議」 (1)開催:平成26年1月22日(水) (2)場所:ホテル河長(宇部市) (3)内容: ①やまぐち事業化支援・連携コーディネート 会議 ②キューブサロン話題提供	1 新たな取り組みとして、多くの企業との 交流を目的に地域の産学公関係者による 情報交換、交流等の場である「キューブサ ロン」、「周南新商品創造プラザ」との合同 開催を実施した。 2 コーディネータの専門性や経験等を活 かす仕組みづくりとして、平成25年度に 「コーディネータ等専門分野」の調査を行 い取りまとめた。	継続実施
中国地域さんさんコンソ 新技術説明会	中国地域産学官連携コンソ シアム 独立行政法人科学技術振興 機構	9機関 岡山大学 鳥取大学 鳥根大学 広島大学 山口大学 県立広島大学 広島市立大学 独立行政法人中小企業基盤整備機構 全国イノベーション推進機構ネットワーク	日時:平成25年9月20日(金) 場所:JST東京本部別館ホール 内容:9件のシーズ発表	「微生物を用いた消化汚泥の資源化」の 研究シーズを発表。新聞記事(日刊工業 新聞)にもとりあげられ、山口県内企業3 社と研究会活動を実施している。これが 契機で山口県の研究助成金も採択を受 けた	継続実施
産学連携学会 関西・中四国 支部 第5回研究・事例発表会	産学連携学会 関西・中四国 支部	支部幹事8機関 岡山大学 和歌山大学 京都工芸繊維大学 鳥根大学 山口大学 高知大学 愛媛大学 香川大学	日時:平成25年12月6日(金)12:30-17:35 場所:海峽メッセ下関 内容:17件の研究・事例発表	山口大学や他地域の特色ある産学連携 活動の成果の発信を行った。	検討中
しまね新技術創出セミナー	松江工業高等専門学校	産：(一社)松江テクノフォーラム (山陰クボタ水道用材株式会社、株式 会社ワコムアイティほか 合計95団 体で構成。) 学：松江工業高等専門学校 官：(公財)しまね産業振興財団	○日時:平成25年度7月9日 ○場所:松江テルサ ○内容 ・プレゼンテーションコンテスト ・エンジニアリングデザイン発表会 ・交流会	松江高専における研究成果等を県や県 内企業に周知することで産学官の交流が 深まった。	継続実施
中国・四国地域人材育成連 携会議(大学人材育成)の 推進	中国・四国地域人材育成連 携会議(島根大学)	産：中国経済連合会、四国経済連合 会、 他7機関 学：香川大学、広島修道大学、 他15大学	・産業界・大学・学生を対象に、就業能力 形成(期待する人材像・現状評価・育成の 役割分担等)に関する意識調査を実施 (H25.5~7) ・中国・四国地域連携会議において上記 調査の中間取り纏め結果を報告 (H25.10.23, 24) ・中国・四国地域連携会議において、産業 界からのコメント(提言)を含め調査結果 を報告(H26.2.19)	・大学に対する産業界が求める人材ニー ズに対応した大学・短大教育の改善方向 の提示	継続実施
領域・研究プロジェクト	岡山県立大学	15機関 産…両備ホールディングス(株)、(株)両備 ヘルシーケア、コアテック(株) 他 学…東京大学、九州大学、富山大学 他 官…岡山県、総社市	平成19年度から、研究と社会貢献活動の レベルアップを目指した異分野複数教員 の連携による活動を推進している。平成 25年度は、「健康・福祉」「地域・環境」「モ ノ・コトづくり」の3重点領域の下に6プロ ジェクトを推進した。	新たに「人がつながる身体性メディア技 術」の領域・研究プロジェクトが追加され、 ゲーム大手に技術導入されるなど、実用 化・商品化が加速した。	継続実施
アクティブラボ	岡山県立大学	38社・団体を訪問した 産…(株)シャープ、ナカシマプロペラ (株)、日本貿易産業(株)、倉敷木材(株) 他 金…おかやま信金 官…岡山県工業技術センター、倉敷市 環境学習センター 他	アクティブ・ラボ(出前研究室)は教員と コーディネーターが企業等に出向き、研究 シーズ紹介や情報交換を行うものである。 本学のシーズとマッチする課題が見込 まれる企業等を訪問し、提案シーズに関 する共同研究の促進を図った。	本年度の実施件数は42件、訪問企業数 は38社・団体であり、ほぼ半年並みであ った。しかし、実施教員数は、延べ52名、実 数26名で、本年度初めて実施した教員は 実数で10名であり、この活動は着実に広 がり定着してきた。	継続実施

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
山陰(鳥取・島根)発新技術説明会	鳥取大学、島根大学、島根県産業技術センター、鳥取県産業技術センター、科学技術振興機構	学：鳥取大学、島根大学 官：鳥根県産業技術センター、科学技術振興機構	①日時 平成25年7月12日(金)10:30-17:00 ②会場 大阪国際会議室 ③内容 山陰両県の試験研究機関の主に未公開特許を説明し、活用促進をPRした。	在阪企業を対象に約90名聴講。技術相談11件と前年よりも増加し、継続的に取り組むことで定着化、山陰の技術をPRすることができた。	継続実施 (鳥取大学が幹事担当)
米子高専振興協会	米子工業高等専門学校	121機関 産:119社、1組合 官:米子市 協力機関:鳥取県、(公財)鳥取県産業振興機構、(地独)鳥取県産業技術センター、米子商工会議所、境港市、(一財)米子市文化財団	総会 日時 平成25年7月11日(木)16:30~18:00 場所 皆生グランドホテル 天水 内容 (1)平成24年度事業報告・収支決算報告 (2)平成25年度事業計画案・収支予算案 講演会「卒業生ネットワークの紹介」ほか 東中部地区企業見学会及び懇談会・懇親会 日程 平成25年9月12日(木)9:00~20:00 見学先 (地独)鳥取県産業技術センター、(株)大真空鳥取事業所 西部地区企業見学会 日程 平成26年3月10日(月)13:00~17:10 見学先 (株)日新、フジッコフーズ(株) 特別講演会 日時 平成25年11月12日(火)16:00~18:00 会場 ホテルサンルート米子 テーマ:「未来予測2013~2025 —これから世の中はどう変わるか?—」 講師:(株)アクアビット 代表取締役チーフ・ビジネスプランナー田中 栄 氏 新年交流会 日時 平成26年2月7日(金)16:00~18:00 場所 ホテルサンルート米子 講演会:「高専プロコンを通しての地域企業との連携-景観再現・景観創造システムの開発-」 技術交流会:Needs&Proposal:「OKシーートの表面処理効率化」ほか オープンファクトリー 9月2日(月)~9月6日(金)実施。13社に対して、延べ57名が参加。 企業ガイドブック 米子高専振興協会企業を紹介する「企業ガイドブック2014」を1,000部発行、配布した。		継続実施
合同ビジネス交流会	鳥取大学、米子高専、鳥取県産業技術センター、鳥取県産業振興機構、神戸市立高等専門学校	MOBIO (大阪府・ものづくりビジネスセンター大阪)	①日時 平成26年3月7日(金)14:00-18:00 ②会場 クリエーションコア大阪 ③内容 研究シーズの紹介	個別シーズ紹介だけでなく、個別相談、大阪府の各種研究開発補助制度の紹介等、共同研究への展開も視野に交流の促進が図られた。	継続実施 (鳥取大学が幹事担当)
中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	岡山大学・鳥取大学	23機関(校) 学：鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子高専、島根大学、松江高専、岡山大学、岡山県立大学、岡山理科大学、就実大学、津山高専、広島大学、広島市立大学、県立広島大学、広島工業大学、近畿大学(工学部)、福山大学、広島商船高専、呉高専、山口大学、徳山高専、宇部高専、大島商船高専	主体機関が提出する内容を参照ください。		継続実施
信用金庫合同ビジネスフェア2013への出展・会場内での貿易投資相談(11/20)	【主催】広島信用金庫合同ビジネスフェア実行委員会	産：5 広島信用金庫、呉信用金庫、しまなみ信用金庫、広島みどり信用金庫、広島県信用金庫協会 学：0 官：0	広島県内外企業間のビジネスマッチング。ジェットロ広島は、会場内で参加者からの貿易投資相談に対応。	連携グループの強化を図ることができた。	検討中
くれしん経営アカデミー	呉信用金庫	産：…取引先中小企業 学：…広島大学 官：…中国経済産業局	平成25年10月~平成26年2月の全5回の日程で、当金庫の人づくりセンターにて、くれしん経営アカデミーを開催。	若手経営者に経営学研鑽や人脈形成の機会を創出して、今後の経営に役立ててもらえた。	継続実施
山口県しんきん合同ビジネスフェア2013	萩山口信用金庫 西中国信用金庫 東山口信用金庫 山口県信用金庫協会	出展企業161機関 産:155機関 学:2機関(含む山口大学) 官:4機関	日時:平成25年5月15日(水) 場所:海峡メッセ下関 内容:出展、個別面談、産学官連携・金融・経営相談会等	山口大学の産学連携活動や研究シーズを広く紹介した。また、県内企業のニーズ情報の収集につとめた	継続実施
EPA/ACFTA活用セミナー(11/28)	【主催】ジェットロ広島、広島商工会議所、中小機構中国	産：1 広島商工会議所 学：0 官：1 中小機構中国	EPAにおいて関税の減免が受けられる「特定原産地証明書」の概要を理解してもらおうと共に、取得するための具体的な流れや活用方法について説明した。	連携グループの強化を図ることができた。	検討中

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
EPA/ACFTA活用セミナー (11/29)	【主催】 ジェトロ広島、福 山商工会議所	産：1 福山商工会議所 学：0 官：0	EPAにおいて関税の減免が受けられる 「特定原産地証明書」の概要を理解して もらうと共に、取得するための具体的な流 れや活用方法について説明した。	連携グループの強化を図ることができた。	検討中
グローバル人材育成プログ ラムでの講義(12/7:ジェ トロ広島所長の講義日)	【主催】 安田女子大学、県 立広島大学、広島修道大 学、広島市立大学 【協力】 ジェトロ広島、他	産：0 学：4 安田女子大学、県立広島大 学、広島修道大学、広島市立大学 官：0	大学生、社会人を対象にグローバル人材 育成を目的とした、講義を、各方面から講 師により行う。	連携グループの強化を図ることができた。	継続実施
サービス産業海外展開セミ ナー&個別相談会(3/14)	【主催】 ジェトロ広島、広 島県、広島商工会議所	産：1 広島商工会議所 学：0 官：0 広島県	具体的な海外事業展開の事例や今後の 当該分野の海外ビジネスチャンスについ て解説した。	連携グループの強化を図ることができた。	継続しない
くらしの経済法律講座 (6/18)	【主催】 鳥取県生活環境 部、鳥取短期大学 【協力】 ジェトロ鳥取	産：0 学：1 鳥取短期大学 官：1 鳥取県生活環境部	鳥取県民の消費生活に関する知識の習 得を目指し、県内教育機関と連携し2005 年度より開始した公開講座。ジェトロ鳥取 は「くらしと貿易のつながり」の講座を担 当。参加者43名。	連携グループの強化を図ることが出来 た。	継続実施
くらしの経済法律講座 (6/24)	【主催】 鳥取県生活環境 部、鳥取大学 【協力】 ジェトロ鳥取	産：0 学：1 鳥取短期大学 官：1 鳥取県生活環境部	鳥取県民の消費生活に関する知識の習 得を目指し、県内教育機関と連携し2005 年度より開始した公開講座。ジェトロ鳥取 は「くらしと貿易のつながり」の講座を担 当。参加者169名。	連携グループの強化を図ることが出来 た。	継続実施
インド・ビジネス・セミ ナー(7/22)	【主催】 鳥取商工会議所、 ジェトロ鳥取	産：1 鳥取商工会議所 学：0 官：0	県内企業の関心が高まっている、インド 経済情勢や日本企業の進出状況について、 鳥取商工会議所とジェトロ鳥取が講師を 選出して実施。参加者37名。	連携グループの強化を図ることが出来 た。	継続実施
貿易実務講座(基礎編) (8/1-2)	【主催】 鳥取県雇用創造協 議会、ジェトロ鳥取	産：0 学：0 官：1 鳥取県雇用創造協議会	貿易業務に関心のある、県内企業・個人 を対象に企画した講座。内容は基礎編。 参加者15名。	連携グループの強化を図ることが出来 た。	検討中
貿易実務講座(応用編) (10/29-30)	【主催】 鳥取県雇用創造協 議会、ジェトロ鳥取	産：0 学：0 官：1 鳥取県雇用創造協議会	貿易業務に関心のある、県内企業・個人 を対象に企画した講座。内容は応用編。 参加者18名。	連携グループの強化を図ることが出来 た。	検討中
技術シーズ育成支援事業	公益財団法人しまね産業振 興財団	5機関 産：県内産業界各社 学：鳥根大学、松江高専、鳥根県立大 学 官：(公財)しまね産業振興財団、鳥 根県産業技術センター	大学・高専等の有する優れた研究シーズ をもとに、本格的な研究、開発の前段階と して、事業化の可能性を見極めるための 試験研究を実施。(7件)		継続実施
技術シーズ事業化支援事業	公益財団法人しまね産業振 興財団	5機関 産：県内産業界各社 学：鳥根大学、松江高専、鳥根県立大 学 官：(公財)しまね産業振興財団、鳥 根県産業技術センター	産業界のニーズを踏まえた発展性があり 実用化に近い研究シーズを、県内企業に おける事業化へ発展させることを目的と し、その研究開発を各機関への委託によ り実施(3件)		継続しない
MOTセミナー	鳥根県	6機関 産：県内産業界各社 学：鳥根大学、松江高専 官：鳥根県、松江市、松江商工会議 所、(公財)しまね産業振興財団	中小企業が市場の条件・競合の状況・自 社の持つ強みなどを検証し、自社の経営 資源を活かして独自製品や技術を開発 し、事業として進めていくための心構えや 手法について講義	県内製造業等の技術開発や産学官連携 に対する理解の促進	継続実施
しょうばら産学官 マッチ ング商品お披露目フェスタ	しょうばら産学官連携推進 機構	12機関 産：庄原商工会議所、備北商工会、東城 町商工会、庄原農業協同組合、その他5 民間事業所 学：県立広島大学、広島県立庄原実業高 等学校 官：庄原市	産学官連携で開発した新商品の周知、県 立広島大学のシーズ紹介等を目的にフェ スタを開催した。内容は①著名な講師に よる基調講演、②県立広島大学のシーズ 紹介、③新商品事例報告、④新商品試食 会である。また、試食会においては来場 者にアンケートを記入してもらい、その結 果や講師からの講評をもとに商品のブ ラッシュアップを行った。	約60名の参加者があった。成果品の販路 拡大やシーズ紹介、成功事例の周知にお いても一定の効果があったものと思われ る。来場者アンケートにおいても満足度は 100%であり、今後も事業を実施する。	継続実施
産業活性化、地域振興等 に関する調査事業及びフ ォローアップ事業	(公財)ちゅうごく産業創 造センター	産・学・官の有識者をもって構成する 委員会により調査・審議 産：賛助会員企業により推薦された 有識者 学：調査テーマに識見を有する中国 地域等の大学の教授・准教授 官：国・地方自治体	【テーマ】 1. 中国地域企業の医療機器分野への部品・ 部材供給拡大に向けた方策検討調査 2. 中国地域における中小企業を中心とし た「産学官連携」推進のための方策検討調 査 3. 中国地域における生産拠点の海外シフト の影響に関する調査 4. 中国地域における日本酒ブランド確立及 び消費拡大についての方策検討調査	左記の4テーマについて、課題の抽出及 び提言を取りまとめた報告書を作成した。	4テーマに かかる提言 内容の実現 化に向けて 助成・支援 及び新たな 調査 事業の継続
ネットワーク構築支援事業 1. 研究交流会	(公財)ちゅうごく産業創 造センター	産：公募により参加する中国地域の企 業 学：シーズ情報を提供いただく中国地 域の大学の教授、准教授等 官：中国経済産業局、中国四国農政 局、県、公設試	医療福祉機器、電子デバイス、植物工 場、機能性食品、メディカルバイオ、環境・ エネルギーの6分野で計14回研究交流 会を実施し、シーズとニーズの情報提供・ 出会いの場を提供した。	累計897名の参加者があり、内容の満足 度は85%であった。	分野を見直 しのうえ継続 実施(名称を 「技術事業 化交流会」に 変更)

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
ネットワーク構築支援事業 2. 事業化検討会	(公財) ちゅうごく産業創造センター	産：公募により参加する中国地域の企業 学：中国地域の大学の教授、准教授等 官：中国経済産業局、中国四国農政局、県、公設試	・事業化検討会を医療福祉機器、植物工場、電子デバイスで計6回実施。 ・研究交流会後のシーズフォローアップ研究会を医療福祉機器、電子デバイスで6回実施。 ・「質感・色感」について、研究会を9回、講演会・工場見学会・成果発表会を各1回開催した。	・「新産業創出研究会」のテーマとして、4件が採択された。 ・「質感・色感」については、研究課題を解決し、上市した企業メンバーが3社あった。	分野を見直しのうえ継続実施
研究開発プロジェクト推進支援事業 1. 新産業創出研究会	(公財) ちゅうごく産業創造センター	産：中核企業は中国地域の企業で、2社以上の参加 学：大学、高専 官：中国経済産業局、県、公設試等	地域の新産業創出を目指して、大学・高等専門学校の研究シーズをもとに、企業の事業化の視点から技術開発課題・商品開発課題を解決させた。 採択件数：15件(研究費総額：1500万円) 内訳：広大(4)鳥大(4)岡大(2)山大(1)島大(1)その他(3)	上市に向けた試作品の完成：6件 次ステップへの応募：6件	継続実施
研究開発プロジェクト推進支援事業 2. ビジネスマッチング交流会	(公財) ちゅうごく産業創造センター	産：(一社)中国地域ニュービジネス協議会 官：中国経済産業局	これまでに終了した新産業創出研究会のテーマの中から、商品化または試作品など事業化に進んだ案件5件を選定のうえ実施した。 日時：平成26年1月29日13:30～17:00 会場：メルパルク広島 参加人数：55名	交流会開催時および終了後、参加者から発表者に対して、5件の問合せ・相談実績があった。	継続実施
情報発信・啓発事業 1. 産業創出講演会	(公財) ちゅうごく産業創造センター	産：中国経済連合会、(公財)中国電力技術研究財団、(一社)中国地域ニュービジネス協議会 官：中国経済産業局、(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ広島、(独)中小企業基盤整備機構中国支部、(独)産業技術総合研究所中国センター、(財)鳥取県産業振興機構、(公財)しまね産業振興財団、(財)岡山県産業振興財団、(公財)ひろしま産業振興機構、(財)やまぐち産業振興財団	【第1回】 講演：「巨大望遠鏡ALMA(アルマ)～宇宙誕生の謎解明にせまる日本の最先端技術～」 日時：平成25年8月28日 14:30～16:30 会場：メルパルク岡山 参加人数：104名 【第2回】 講演：「MRJの挑戦～国産旅客機を世界の空へ～」 日時：平成25年11月20日14:30～16:30 会場：リーガロイヤルホテル広島 参加人数：228名	いずれも、募集定員を上回る参加者があり、アンケートの結果、満足度は94%、98%であった。また、岡山での初開催により、中国地域内での当センターの認知拡大を図ることができた。	継続実施
事業化促進支援事業 1. 技術事業化評価事業	(公財) ちゅうごく産業創造センター	20機関 産：(一社)中国地域ニュービジネス協議会、経営コンサルタント、弁理士 学：広島大学 官：中国経済産業局 金：中国地域内の15金融機関	中国地域産業クラスター等サポート金融会議の各県地域分科会開催 広島(1/17)山口(3/11)岡山(3/18)鳥取(3/19)島根(3/20)	金融機関等から同事業の引き合いはなかった。	継続実施
技術シーズ企業ニーズマッチング事業	(公財)ひろしま産業振興機構	12機関(連携している機関数をご記入ください) 産：…県内中小企業者 学：…県内7大学、1高等専門学校 官：…広島県、(公財)ひろしま産業振興機構 広島市、東広島市、	大学等の研究内容を新産業に結びつける可能性を発掘するため、企業やコーディネーター等と大学の研究室等を訪問し、研究内容の説明を受けるとともに事業化に向けた意見交換等を実施した。	大学と企業との共同研究契約締結3件	検討中
岡山・産学官連携推進会議	岡山県、(公財)岡山県産業振興財団	28機関 産：岡山県経済団体連絡協議会、岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、(社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会 学：岡山大学、岡山県立大学、岡山理科大学、川崎医科大学、倉敷芸術科学大学、津山工業高等専門学校、岡山商科大学、川崎医療福祉大学、吉備国際大学、中国学園大学、就実大学、中国職業能力開発大学校 官：中国経済産業局、岡山県、岡山県市長会、岡山県町村会 その他：日本政策投資銀行岡山事務所、日本貿易振興機構岡山貿易情報センター、(公財)岡山県産業振興財団、(一社)システムエンジニアリング岡山、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(独)中小企業基盤整備機構中国本部	○岡山・産学官連携推進会議幹事会開催回数：年4回(ワーキンググループ含む) 内容：産学官の実務者レベルで構成する幹事会において、産学官連携の情報共有や事業の企画を実施 ○産学官連携セミナー 日時：平成26年1月17日(金)13:30～16:30 場所：岡山コンベンションセンター 内容：3Dプリンターの活用等 ○産学官連携交流会 日時：平成26年2月13日(木)16:00～20:00 場所：湯郷グラウンドホテル 内容：各機関の産学官連携の取り組み紹介、情報交換、工場見学等 参考URL： http://okayama-sangakukan.jp/	平成15年3月に設立した「岡山・産学官連携推進会議」について、これまでの取組を総括し、今後担うべき役割や組織体制、取組内容について見直し、取組の力点を、これまでの産学官連携を推進するための基盤整備から、具体的な出口を見据えた事業の推進に移し、平成25年4月に組織体制をスリム化した。	継続実施
岡山大学連携型企業育成施設入居者支援事業	岡山市	産：…岡山大インキュベータ入居企業 学：…各大学 官：…岡山市、中小企業基盤整備機構、岡山県	入居企業への賃料補助 平成25年度10社	産学官連携の地理的優位性のある岡山大インキュベータの賃料補助を行うことにより、連携推進の側面的支援につながっている。	継続実施
産学官連携セミナー事業	岡山市	産：…各企業 学：…市内専門学校等 官：…岡山市、岡山県産学官連携会議、おかもやまコーディネータ連絡会	セミナー2回	開催時の時流にあったセミナーを開催することで、産学官連携の気運醸成の一助となっている。	継続実施

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
(一社)岡山工業会との意見交換	(一社)岡山工業会事務局 協同組合 岡山鉄工センター	産:・・・(一社)岡山工業会会員企業 学:・・・岡山大学、岡山理科大学、岡山県立大学、岡山県高等学校工業教育協会 官:・・・岡山市、岡山県産業振興財団、岡山県工業技術センター	情報交換会2回	産学官のネットワーク構築に寄与している。	継続実施
100社訪問キャラバン隊	岡山県 (キャラバン隊事業の主幹が岡山県商工会議所連合会)	29機関 <経済団体> 岡山県経済団体連絡協議会 岡山県商工会議所連合会 岡山県経営者協会 (社)岡山経済同友会 岡山県中小企業団体中央会 岡山県商工会連合会 <大学等> 岡山大学 岡山県立大学 岡山理科大学 川崎医科大学 倉敷芸術科学大学 津山工業高等専門学校 岡山商科大学 川崎医療福祉大学 吉備国際大学 中国学園大学 就実大学 岡山学院大学 中国職業能力開発大学校 <行政・支援機関等> 中国経済産業局 岡山県 岡山県市長会 岡山県町村会 (公財)岡山県産業振興財団 日本政策投資銀行岡山事務所 日本貿易振興機構 岡山貿易情報センター (一般(社))システムエンジニアリング岡山(社)中国地域...	食品分野への進出を目指している岡山市内の印刷会社の技術的ニーズに応えるため大学研究者を伴って訪問した。	企業と研究者のマッチングのきっかけとすることができた。	事業継続
さんさんコンソ新技術説明会	中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	635機関 産:さんさんコンソ企業会員563社(2014/3時点) 学:さんさんコンソ正会員校 25校 官:さんさんコンソ特別会員 47機関	○中国地域さんさんコンソ新技術説明会9月20日(金)、JST東京別館ホール(東京・市ヶ谷) さんさんコンソ7校の連携により、ライフサイエンス、情報・通信、ものづくり、環境分野の9テーマについてプレゼンテーションした。(来場者409名)	○共同研究等のマッチングに向けてフォローアップ中。	(継続実施)
「中国地域版 産から学へのプレゼンテーション」 12月5日(木)、岡山コンベンションセンター	JST、中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	3機関 学:2大学(岡山大学、鳥取大学) 産:1機関(経済産業省中国経済産業局)	○企業5社からニーズを発表し、延べ256名の大学等関係者が参加した。(参加機関:中国地域、関東地域、九州地域の大学・高専および中国地域、東北地域、近畿地域、四国地域の研究機関・支援機関)	○企業からのニーズ発信を受け、個別に大学等からシーズ発信を行い、共同研究等のマッチングに向けてフォローアップ中。効果大。	(継続実施)
知財教育セミナー	中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	3機関 学:2大学(岡山大学、鳥取大学) 産:1機関(経済産業省中国経済産業局)	○知財基礎教育、特許実務教育、特許検索基礎教育、特許検索実務教育、知的財産インターンシップ(セミナー1回、実習2回)延べ157名	○産学官延べ157名が受講。ニーズと評価大。	(継続実施)
おかやま次世代自動車技術研究開発プロジェクト	(公財)岡山県産業振興財団	産:岡山県内16社 学:岡山理科大学、大同大学、東京都市大学 官:岡山県、岡山県工業技術センター	次世代電気自動車に対応した新素材、新工法、新技術、新製品などの研究開発に取り組み、次の目標の下に実施した。 1. プロジェクト参加企業の成長戦略への貢献 2. 岡山県の自動車産業の底上げと新しいクラスターの構築 3. 新技術、新製品の開発 4. 次世代自動車開発に対応した人材の育成	ナンバープレートを取得し、公道を走行できる試作車を完成させた。 この試作車はインホイールモータを特長とし、①省エネルギー・省資源、②高い走行安全性、③多様な車両形態を可能にしている。	平成26年度から第2期として継続実施
基町住宅活性化支援プロジェクト	広島市	3機関 産:NPO法人 地域計画工房 学:県立広島大学保健福祉学部 田中聡子准教授 官:広島市都市整備局	(H24年度の取組み終了後) ・問題となっている規制や規定の改定手続き ・新規計画の策定を実施	H26年度からの実施内容として ・サテライト研究室の設置 ・社会資源マップの調査作成を決定(瓦番を発行し住民に広報)	継続実施
イノベーションジャパン	JST	高専機構から出展	低価格超高周波受動・能動回路及びアンテナ技術	多くの技術相談を得た。	継続実施
マイクロウェーブ展	電子情報通信学会	呉高専単独で出展	94GHz帯回路素子及び白血病早期発見システム	多くの技術相談を得た。	継続実施
信用金庫合同ビジネスフェア	呉信用金庫・広島信用金庫・しまなみ信用金庫・広島みどり信用金庫	産:・・・取引先中小企業 学:・・・近畿大学・広島国際大学・広島文化学園・広島大学・呉港高等学校 官:・・・広島県	平成25年11月20日に広島グリーンアリーナにて、第8回広島県信用金庫合同ビジネスフェア2013を開催。	総商談件数は4,253件、総商談成立件数は178件。良質な商談が行われて商談成立件数に増加傾向が窺える。	継続実施

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
文科省地域イノベーション 戦略支援プログラム「やまぐちグリーン部材クラスター」事業	(地独)山口県産業技術センター	産:宇部興機株式会社 産:株式会社カネカ 産:シャープ株式会社 産:ジャパンファインスチール株式会社 産:シンテック株式会社 産:新日本製薬株式会社 産:長州産業株式会社 産:株式会社DIC 産:株式会社トクヤマ 産:戸田工業株式会社 産:長山電機産業株式会社 産:日本アトマイズ加工株式会社 産:ホシデン株式会社 産:水口電装株式会社 学:山口大学大学院理工学研究科 学:山口大学農学部 学:水産大学校海洋生産管理学科 学:山口東京理科大学工学部 学:宇部工業高等専門学校 官:山口県農林総合技術センター 官:山口県水産研究センター 官:(地独)山口県産業技術センター	地域産業のイノベーションポテンシャルと大学等の知的ポテンシャルとを結び付けて、 i) 次世代の高性能LED用部材とLED応用製品技術の開発 ii) 廃シリコンを減量できる太陽電池用シリコン結晶の育成技術と廃シリコンからの太陽電池グレードシリコンへの再生技術の開発 iii) 低温高速応答液晶やフレキシブル熱電材料などのナノ粒子応用部材の開発を産学公連携のもとで推進した。 研究成果を順次事業化に移行することにより、地域企業の強みを活かしてグローバルビジネスを展開する「やまぐちグリーン部材クラスター」の形成を促進することを目的とした。	平成25年度の実績は、以下のとおり。 国内特許出願: 4件 国内特許取得: 4件 海外特許出願: 9件 特許の実施許諾: 12件 当該事業により生じた新商品: 3件 当該事業により生じた新事業: 1件 当該事業の成果による収入(売上、特許等の実施料収入等): 10,000千円	継続しない
産学官共同研究: 経産省戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)	(地独)山口県産業技術センター (公財)やまぐち産業振興財団	①テーマ1 産: 萩ガラス工房有限会社 産: 株式会社サン精機 産: 日新リフラテック株式会社 学: 山口大学(アドバイザー) 官: (地独)山口県産業技術センター 官: (公財)やまぐち産業振興財団 ②テーマ2 産: J R C S株式会社 産: 株式会社アイデンビデオトロンクス 学: 学校法人早稲田大学 官: (地独)山口県産業技術センター ③テーマ3 産: 有限会社デジタル・マイスター 産: 有限会社ハイテクラボ 学: 山口大学(アドバイザー) 官: (地独)山口県産業技術センター	①テーマ1: 新しいモジュール構造による安価・長寿命で高性能な水処理用セラミックフィルターの開発 ②テーマ2: 電波が使い難い環境下においてLED照明光通信技術を用いて複数端末が同時接続可能な光無線LANを実現するための組み込みソフトウェアの高度化 ③心拍揺らぎと呼吸から日常生活の中でストレス状態を手軽に知ることが出来る携帯型評価装置とクラウドサービスを実現するための組み込みソフトウェアの高度化に関する研究	鋭意研究開発中。研究成果は非公開。	継続する
地域新産業創出基盤強化事業(中国地域)	(地独)山口県産業技術センター	官: (独)産業技術総合研究所中国センター 官: (地独)山口県産業技術センター 官: 広島県立総合技術研究所 官: 岡山県工業技術センター 官: (地独)鳥取県産業技術センター 官: 島根県産業技術センター 官: 広島市工業技術センター 官: (公財)ちゅうごく産業創造センター 学: 山口大学産学公連携センター 学: 広島大学大学院	本事業では学識経験者を含む運営協議会を設置し、中国地域の技術支援拠点である各県の工業系公設試験研究機関に新たに必要試験研究機器、評価機器について協議を行い、設置・稼働を行うとともに、産業技術連携推進会議中国部会企画分科会の「炭素繊維複合材料研究会」や中国経済産業局の中国地域活性化計画の一環である「中国地域・先進環境対応車クラスタープロジェクト」とも連携しながら中国地域における、輸送機械等の新たな製品作りに向けた研究開発・評価基盤の強化を行った。 また、機器整備後に機器活用に向け、参画機関のコーディネート活動を中心に行う専門家を配置し、各設置機関での講演などにより整備した機器の活用促進を図った。	中国地域公設試のメンバーを核とする運営協議会を設置し、広島、山口の山陽地域においては輸送機器メーカーである自動車会社が集積するため、「製品評価」に関する機器を選定した。鳥取、島根の山陰地域では地場における素材メーカーのニーズの高い「材料評価」機器を選定した。運営協議会の選定結果をもとに、(地独)山口県産業技術センターにおいて入札による業者選定・機器導入作業を行った。その結果、4県4機関に7種類の機器を整備することが出来た。 本事業の運営協議会、幹事会を通じて各公設機関との連携、情報共有の活性化を図ることが出来た。また、専門家の配置によって他県の整備機器についても情報共有が出来た。今後は構築した、人的ネットワークにより、中国地域における新産業創出の基盤強化に関する企業への支援体制を強化していく。	継続しない
やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議	公益財団法人やまぐち産業振興財団 山口大学	25機関 産:山口ティー・エル・オー、周南新商品創造プラザ、山口県技術交流協会、周南地域地場産業振興センター、山口・防府地域工芸地場産業振興センター、山口県アクティブシニア協会、瑞穂総合コンサルタント、日本政策金融公庫、西京銀行、山口経済研究所 学:山口大学、水産大学校、山口県立大学、山口東京理科大学、香川学園、徳山大学、宇部工業高等専門学校、徳山工業高等専門学校、大島商船高等専門学校 官:ちゅうごく産業創造センター、中国地域ニュービジネス協議会、山口県、宇部市、山口県産業技術センター、やまぐち産業振興財団	○定時総会 日時:平成25年6月11日(火)14:00-16:50 場所:セントコア山口 内容:平成24年度事業報告、平成25年度事業計画(案)等 ○幹事会及び第14回企画運営委員会 日時:平成26年3月14日(金)14:00-15:10 場所:山口大学大学研究推進機構 内容:平成24年度事業報告、平成25年度事業計画(案)等 ○コーディネータ連絡会議 ・第1回コーディネータ連絡会議(周南新商品創造プラザとの合同開催) 日時:平成25年5月15日(水)13:30-18:50 場所:東ソークラブ 内容:「やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議」の活動紹介等 ・第2回コーディネータ連絡会議(周南新商品創造プラザとの合同開催) 日時:平成25年11月26日(火)13:30-18:50 場所:東ソークラブ 内容:(地独)山口県産業技術センターの技術支援活動等の紹介等 ・第3回コーディネータ連絡会議(キューブサロンとの合同開催) 日時:平成26年1月22日(水)18:30-20:30 場所:ホテル河長 内容:サポイン等の競争的資金獲得に向けての山口県産業技術センターの取組等	平成24年度事業で、サポイン等競争的資金獲得に向けた取り組みを実施した。具体的には、4回の講演で、申請書書き方のポイント、また、サポインでこれまで採択件数の多い岡山県の産学官連携を推進する組織体制とその活動紹介、経済産業政策の重点、さらには、中国経済産業局、山口県商工労働部、やまぐち産業振興財団の技術開発関連施策・制度の紹介など、コーディネータ間の情報交換とコーディネータのスキルアップを図る活動を実施した。 平成25年度のサポインでは、山口県で3件採択されたが、本事業の活動もこれに貢献できたといえる。	継続実施

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
周南新商品創造プラザ	周南新商品創造プラザ	72機関(一般会員:56機関、特別会員:16機関) 産:66機関 学:4機関(含む山口大学) 官:2機関	○総会、第1回プラザ(やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議との合同開催) 日時:平成25年5月15日(水)13:30-18:50 場所:東ソークラブ 内容:会社紹介、新商品・新技術紹介等 ・第2回プラザ 日時:平成25年8月22日(木)13:30-17:00 場所:周南地域地場産業振興センター 内容:会社紹介、新商品・新技術紹介等 ・第3回プラザ(やまぐち総合ビジネスメッセとの共同開催) 日時:平成25年10月25日(金)13:00-14:15 場所:麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター 内容:講演会 ・第4回プラザ(やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議との合同開催) 日時:平成25年11月26日(火)13:30-18:50 場所:東ソークラブ 内容:会社紹介、技術紹介等 ・第5回プラザ 日時:平成26年1月27日(月)13:30-16:25 場所:周南地域地場産業振興センター 内容:会社紹介、新商品・新技術紹介等 ・第6回プラザ 日時:平成26年3月11日(火)13:30-16:30 場所:帝人(株)徳山事業所 内容:会員企業の見学会	H25年度から、前掲の「やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議」と合同開催する事にし、県内CDと周南地域の参加企業が直接、交流できるようにした。この結果、企業からの技術相談の件数は確実に増加している	継続実施
キューブサロン	西京銀行	74機関 産:51機関 学:7機関(含む山口大学) 官:16機関	○計6回開催 ・第64回キューブサロン 日時:平成25年5月23日(木)18:30-20:30 場所:ホテル河長 内容:話題提供等 ・第65回キューブサロン 日時:平成25年7月17日(水)18:30-20:30 場所:ホテル河長 内容:話題提供等 ・第66回キューブサロン 日時:平成25年9月18日(水)18:30-20:30 場所:ホテル河長 内容:話題提供等 ・第67回キューブサロン 日時:平成25年11月20日(水)18:30-20:30 場所:ホテル河長 内容:話題提供等 ・第68回キューブサロン(やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議との合同開催) 日時:平成26年1月22日(水)18:30-20:30 場所:ホテル河長 内容:話題提供等 ・第69回キューブサロン 日時:平成26年3月20日(木)18:30-20:30 場所:ホテル河長 内容:話題提供等	H25年度から、前掲の「やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議」と合同開催する事にし、県内CDと宇部市地域の参加企業が直接、交流できるようにした。この結果、企業からの技術相談の件数は確実に増加している	継続実施
ヤマガチ・ベンチャー・フォーラム	山口銀行	176機関(一般会員:166機関、特別会員:10機関) 産:170機関 学:3機関(含む山口大学) 官:3機関	○第17回総会及び役員会 日時:平成25年5月22日(水)15:00-18:45 場所:海峡メッセ下関 内容:役員会、総会、記念講演会、懇親会等 ・例会 日時:平成25年8月6日(火)15:00-18:30 場所:山口グランドホテル 内容:講演会、交流会 ・分科会 日時:平成25年9月27日(金)16:00-18:45 場所:ホテルサンルート徳山 内容:分科会(支援機関紹介)、交流会 ・分科会 日時:平成25年11月7日(木)16:00-18:30 場所:シーモールパレス 内容:海外ビジネス分科会、交流会	山口大学の産学連携活動や研究シーズを広く紹介した。また、県内企業のニーズ情報の収集につとめた。また、主体機関である山口銀行を通じての企業技術相談が増加した。	継続実施
やまぐち総合ビジネスメッセ2013	山口県、周南市、下松市、光市、田布施町、(地独)山口県産業技術センター、(公財)やまぐち産業振興財団、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会、日本政策金融公庫、山口銀行、西京銀行、山口県しんきん合同ビジネスフェア実行委員会、(公財)周南地域地場産業振興センター、周南新商品創造プラザ、徳山商工会議所、新南陽商工会議所、下松商工会議所、光商工会議所、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)山口貿易情報センター	出展企業186機関 産:173機関 学:6機関(含む山口大学) 官:7機関	日時:平成25年10月25日(金)-26日(土) 場所:麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター 内容:講演会・セミナー、プレゼンテーション、商談会等	山口大学の産学連携活動や研究シーズを広く紹介した。また、山大ユルキャラ「やまみー」も参加させ、一般市民の方を対象とした広報活動にも努めた休日も含んだ開催期間のため	継続実施

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
地域産学官連携科学技術振興事業費 地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型)	地方独立行政法人 山口県産業技術センター (中核機関)	産:・・・宇部興産(株)、(株)HDT、(株)カネ、京セラ、 ジャパンファインステール(株)、シャープ(株)、シテック(株) 長州産業(株)、DIC(株)、東ソー(株)、(株)トクヤマ 戸田工業(株)、長山電機産業(株)、ホシデン(株) 日本アトマイズ加工(株)、水口電装(株) 学:・・・山口大学、山口東京理科大学、 水産大学校 官:・・・山口県、(地独)山口県産業技術センター (財)やまぐち産業振興財団	山口東京理科大学が保有するナノ粒子・液晶に関する技術を核として、原料供給の川上から製品を製造販売する川下までの企業と共同研究を進め、新たなナノ粒子やその特性を活かした革新的な液晶パネル、ハイブリッドフィルム等の事業化を図る戦略 ・「やまぐちグリーン部材クラスター」研究成果 発表会 in Tokyo ・山口東京理科大学第14回液晶研究所・第11回先進材料研究所 合同シンポジウム ・「やまぐちグリーン部材クラスター」事業成果	国内出願 特願:「液晶組成物」 特開:「金属ナノ粒子の製造法賞および導電材料」 国際出願 WO:「熱電変換材料及び熱電変換素子」	本事業は終了したが、企業との共同研究また、他事業にて研究・開発を継続
次世代産業クラスター形成に向けた研究開発業務	地方独立行政法人 山口県産業技術センター	産・・・(株)トクヤマシテック、都市産業(株)、 (株)末永理化学 学・・・山口東京理科大学 官・・・(地独)山口県産業技術センター	CO2還元を目指したナノ光触媒固定化多孔性吸着材の開発		本事業は終了したが更なる事業化に向けた検討を行う
産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業	中国・四国地域人材育成事業事務局	産:中国経済連合会、四国経済連合会、 島根県経営者協会、岡山県経済団体連絡協議会、 広島県経営者協会、山口県経営者協会、 徳島県経営者協会、香川県経営者協会、 愛媛県経営者協会 学:島根大学、徳島大学、香川大学、 愛媛大学、島根県立大学、岡山県立大学、 尾道市立大学、県立広島大学、岡山理科大学、 倉敷芸術科学大学、くらしき作陽大学、 ノートルダム聖心女子大学、広島修道大学、 福山大学、安田女子大学、四国大学、 鈴峯女子短期大学、山口東京理科大学 官:中国経済産業局、四国経済産業局、 島根県、岡山県、広島県、山口県、 徳島県、香川県、愛媛県	①産業界等との連携による共同アンケート調査の実施 調査名:「中国・四国地域における就業能力形成に関するアンケート調査」(中国経済連合会との共同調査) 時期:平成25年7月 回答数:企業(359社)、大学・短大(28校62学部)、学生(2,055名) 特色:企業、大学・短大、学生の3者が共通する25項目の資質・能力について3つの水準で評価を行い、それぞれの水準での3者間の「相違の性質」を明らかにしようとした点 ②「中国・四国地域人材育成フォーラム」の開催 日時:平成25年10月23日(水)14:50～17:20 会場:広島国際会議場 内容:ワールドカフェ(グループディスカッション) テーマ「働きつづけるために～企業に望むこと、学生に望むこと」 出席者:文部科学省(1名)、ディスカッション参加者(産業界等(26名、大学36名、学生36名)その他(連携大学46名、他大学15名))	①企業、大学・短大、学生の3者における役割分担、協働、連携の可能性が明らかになった ②産業界や自治体の方々や学生がお互いに現状を話し合うことで刺激的なディスカッションが行われた。また、そのことにより大学の役割が明らかになった	継続実施
産総研 本格研究ワークショップ in やまぐち	(独)産業技術総合研究所 中国センター	8機関 産:中国経済連合会、(公財)ちゅうごく産業創造センター、(一社)中国地域 ニュービジネス協議会、 (独)中小企業基盤整備機構中国支部 官:中国経済産業局、山口県、 (地独)山口県産業技術センター 金:(株)商工組合中央金庫下関支店	産総研は、オープンイノベーションハブ機能の強化を目指す一環として、オール産総研の研究シーズを地域に紹介し、地域の課題解決に貢献することを目的に「産総研本格研究ワークショップ」を開催。 (平成25年度の概要) テーマ:中国地域のものづくり技術のオープンイノベーション 日時:平成25年12月3日(火)13:00～18:30 会場:やまぐちグランドホテル(山口市) 参加人数:181名 ※ポスターセッション、技術相談コーナー開設	地域企業の課題と産総研シーズとの連携事例の紹介等により、企業との連携や関係機関との連携強化が図られた。	継続実施
とっとり産業フェスティバル2013&鳥取環境ビジネス交流会2013	・とっとり産業フェスティバル2013=同実行委員会 ・鳥取環境ビジネス交流会2013=鳥取県	14機関 産:鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、(公財)鳥取県産業振興機構 学:鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、(地独)鳥取県産業技術センター、鳥取大学振興協力会 金:山陰合同銀行、鳥取銀行 官:鳥取市、鳥取県	別添資料のとおり	別添資料のとおり	継続実施
美容・健康商品創出支援事業	鳥取県	美容・健康商品創出に関心のある研究機関、企業等によりプロジェクトチームを設置(鳥取大学、鳥取県産業技術センター、素材開発企業、食品開発企業等)	・県から鳥取大学(かに・梨ナノファイバー、らっきょう)、県産業技術センター(ハトムギ、きのこ類)に対し美容・健康商品の素材開発研究を委託した。 ・美容・健康商品創出支援プロジェクトチーム会議を7月、12月に開催し、委託研究の結果を確認、次段階の研究移行について意見を聴取した。 ・10月にキッチン・キトサンシンポジウム、3月に健康博覧会に出展し、研究成果の取組や県内関連事業者の製品等を紹介した。	・委託研究は平成26年度まで継続実施。 ・学会や展示会に出展し、国内外の企業から研究結果や県内産素材に係る問合せをいただいた。	PT会議のみ継続実施

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
地域イノベーション戦略支援プログラム	とっとりバイオイノベーション推進協議会	14機関 産：鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、(公財)鳥取県産業振興機構(総合調整) 学：鳥取大学、(地独)鳥取県産業技術センター 金：鳥取銀行、山陰合同銀行、鳥取信用金庫、米子信用金庫、日本政策金融公庫鳥取支店 官：米子市、境港市、鳥取県	・鳥取大学発染色体工学技術を用いた創業支援等新産業クラスターの創出に向け、7月、国の「地域イノベーション戦略支援プログラム」に採択された。 ・12月にキックオフセミナー開催した。 ・3月に国際技術動向調査ユニット会議を開催し事業化に向けた専門家による意見交換を実施した。 ・県内バイオベンチャー企業に対し、研究開発費補助、低利融資制度、バイオフロンティア入居料補助等の支援を実施。	・大学と企業の橋渡し役であるプロジェクトディレクターやコーディネーターの配置により、事業化推進に向けた体制が強化された。 ・県内バイオベンチャー企業において、国のバイオ医薬品開発プロジェクトへの参画や大手バイオ関連メーカー等との業務提携等事業拡大が進んだ。	継続実施
平成25年度 中国・四国地方公設試験研究機関企画担当者会議	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター	官：中国経済産業局、中国・四国地方各県・市の公設試験研究機関	①日時 平成25年12月18、19日 ②会場 鳥取県産業技術センター ③内容 ・経済産業局・産業技術総合研究所からの情報提供 ・各機関からの提案議題の討議 ・講演会 演題「今後の地方公設試の在り方」(地方公設試の現状や期待等) 講師 一般財団法人日本立地センター立地総合研究所 主任研究員 林 聖子氏 ・企業視察 ア ユーシー産業株式会社 イ いなば和紙協業組合 ウ あおや和紙工房	各県・市における実情、取組課題、改善工夫している点、最近の取組事例など、情報共有、関係の広域化が図られた。	継続実施(香川県が幹事担当)
第4回地方独立行政法人公設試験研究機関情報連絡会	第4回地方独立行政法人公設試験研究機関情報連絡会	全国の地方独立行政法人である試験研究機関で構成(北海道、青森県、岩手県、東京都、大阪府、大阪市、鳥取県、山口県)	①日時 平成26年3月12日(木)13:30-17:30 ②会場 大阪市工業研究所 ③内容 各種情報交換	各法人における実情、取組課題、改善工夫している点、最近の取組事例など、情報共有、関係の広域化が図られた。	継続実施(大阪市立工業研究所が幹事担当)
中国地域公設研究機関の開放機器の紹介	産業技術連携推進会議中国地域部会	官：産総研中国センター、鳥取県産業技術センター、島根県産業技術センター、岡山県工業技術センター、広島県立総合技術研究所、山口県産業技術センター、広島市工業技術センター	各公設試の試験研究機器で民間等に開放する機器(名称、スペック、利用料金等)を一元的に検索できるシステムをHP上で通年的に紹介した。	活用を希望する企業の利便性を向上させ、広域的利用の促進が図られた。	継続実施(産総研中国センターが幹事担当)
とっとり産業フェスティバル2013	とっとり産業フェスティバル2013同実行委員会	鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、山陰合同銀行、鳥取銀行、鳥取大学振興協力会、鳥取県産業技術センター、鳥取県産業振興機構、米子市、境港市、鳥取県	①日時 平成25年9月6、7日 ②会場 コカ・コーラウエストスポーツパーク 鳥取県民体育館 ③内容 基調講演、企業展示、研究発表、サイエンス講座、交流会	広く県民に県内企業、大学、公設試の技術をPRすることができた。	継続実施(鳥取県が幹事担当)
岡山・産学官連携推進会議	岡山県	29機関 産：岡山県経済団体連絡協議会、岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、(社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会 学：岡山大学、岡山県立大学、岡山理科大学、川崎医科大学、倉敷芸術科学大学、津山工業高等専門学校、岡山商科大学、川崎医療福祉大学、吉備国際大学、中国学園大学、就実大学、岡山学院大学、中国職業能力開発大学校 官：岡山県、岡山県市長会、岡山県町村会、中国経済産業局、 その他：日本政策投資銀行岡山事務所、(独)日本貿易振興機構岡山貿易情報センター、(公財)岡山県産業振興財団、(社)システムエンジニアリング岡山、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(独)中小企業基盤整備機構中国支部	主体機関が提出する内容を参照ください。		継続実施
岡山リサーチパーク研究・展示発表会(実施している事業名称、総称などをご記入ください)	岡山リサーチパーク研究・展示発表会実行委員会(公財)岡山県産業振興財団	11機関 学：岡山大学、岡山県立大学、倉敷芸術科学大学、中国職業能力開発大学校、津山工業高等専門学校、吉備国際大学、岡山理科大学 官：岡山県工業技術センター、岡山リサーチパークインキュベーションセンター、岡山県、(公財)岡山県産業振興財団	第18回岡山リサーチパーク研究・展示発表会(岡山リサーチパークに関係する企業・機関の研究開発成果を発表すると共に、その成果を県内に広めるための交流・相談の場を提供した。)		継続実施

平成25年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

事業名	主体機関	連携機関	平成25年度実施内容	平成25年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
起業家養成講座事業	【主催者】 東広島市、広島大学 【実施事業者】 同上	2機関 学:広島大学	日時:平成25年6月29日～7月13日(6日間) 場所:コラボスクエア会議室 内容:「会社設立手順」「起業事例紹介」「資金繰りと資金調達」「ビジネスプラン作成実習」等 参加者数:35名(内修了者16名)	・広島大学と連携し、起業しようとする人や起業間もない人への支援強化へと繋がった。	継続実施
産学金官マッチングイベント事業	【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会(東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会) 【実施事業者】 同上	3機関 官:経済産業省中国経済産業局、広島県、公益財団法人ひろしま産業振興機構	産学金官の技術情報交流及び人的交流を促進し、新たなビジネスや販路拡大につなげることを目的に、大学等における研究活動・成果の紹介、産学金官連携等によって生まれた優れた製品の展示及び金融相談会などを行う、「東広島市産学金官マッチングイベント2013」を開催した。	・連携、ネットワーク構築、人的交流などの場の提供となり、情報発信力の強化に繋がった。 ・しかしながら、その後の連携(共同研究・開発)にはなかなか結びついていない。 ・金融機関特有の機能を効果的に発揮できる取組の推進が課題。	継続実施
東広島発!ものづくり逸品認定事業	【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会(東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会) 【実施事業者】 同上	-	産学金官連携等によって生まれた中小・ベンチャー企業の優れた製品を「東広島発!ものづくり逸品」として認定し、東広島市産学金官マッチングイベントでの展示のほか、製品紹介パンフレット、東広島市のホームページ・広報誌・フェイスブック及び中国新聞の広告への掲載等のPR等により、販路拡大のきっかけづくりを支援した。	・本市の工業製品、加工食品等の情報発信力の強化につながった。 ・今後、金融機関特有の機能を効果的に活用できる取組を行ってきたい。	継続実施
研究室訪問事業	【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会(東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会) 【実施事業者】 広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市	-	公益財団法人ひろしま産業振興機構と共催で、市内大学の研究内容を紹介する研究室訪問を実施した。	・連携、ネットワーク構築、人的交流などの場の提供となり、情報発信力の強化に繋がった。 ・しかしながら、その後の連携(共同研究・開発)にはなかなか結びついていない。	継続実施
産学連携人材育成支援事業	【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会(東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会) 【実施事業者】 広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市	-	大学が有する知的資源を活かし、産業界で求められる技術・ノウハウ等を学ぶ社会人向けのリカレント講座を実施した。	・連携、ネットワーク構築、人的交流などの場の提供となった。	継続実施
研究会事業	【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会(東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会) 【実施事業者】 東広島市	2機関 官:独立行政法人中小企業基盤整備機構、広島県立総合技術研究所西部工業技術センター生産技術アカデミー	企業ニーズの高い分野の中から、デザインに関する研究会の活動を実施した。	・連携、ネットワーク構築及び人的交流などの場の提供となった ・具体的な成果の輩出が課題。	継続実施
ニーズ発信会事業	【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会(東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会) 【実施事業者】 東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県央商工会、安芸津町商工会、東広島市	1機関 官:広島県立総合技術研究所西部工業技術センター生産技術アカデミー	中小・ベンチャー企業が抱える技術課題等の解決を支援し、新事業展開や競争力強化を促進するため、企業のニーズと大学、研究機関及び金融機関のシーズの具体的なマッチングを図る、ニーズ発信会を実施した。	・連携、ネットワーク構築、人的交流などの場の提供となり、情報発信力の強化に繋がった。 ・しかしながら、その後の連携(共同研究・開発)にはなかなか結びついていない。	継続実施
定例会	つやま新産業創出機構 美作大学地域生活科学研究所	官:つやま新産業創出機構 学:美作大学地域生活科学研究所	毎月1回の情報交換会で お互いの取り組みの状況を把握、協働で取り組める課題を検討する	津山産小麦の生産拡大、消費拡大のためのPR活動、基礎研究(商品成分分析、レシピ開発)	継続実施
津山食料産業クラスター	つやま新産業創出機構、津山市周辺 民間企業	官:つやま新産業創出機構 学:美作大学地域生活科学研究所 産:民間企業(岡山県北地区)	情報交換会(勉強会)	食品衛生法の実践的学習	検討中